

指定管理施設事業評価票(令和2年度分)

1. 施設所管課 観光経済部 観光課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市今市宿市縁ひろば		
	所在地	日光市今市600番地1		
指定管理者	名称	一般社団法人 日光市観光協会		
	代表者名	会長 八木澤 哲男		
	住所	日光市今市717番地1		
指定期間	平成31年4月1日	～	令和4年3月31日	3 年間
選定方法	非公募	評価実施年	3 年間のうち	2 年目
施設設置目的	日光市民及び日光市への来訪者が、郷土の歴史・文化・産業等に触れ、集い、安らぐことのできる場を提供するため。			
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用受付案内業務 ・施設利用料金の徴収に関する業務 ・誘客のための企画実施 ・周辺観光案内の業務 			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和元年度		令和2年度		令和3年度		目標	実績	目標	実績
		目標	実績	目標	実績	目標	実績				
a 利用者数	人	26,000	14,612	22,000	4,223	10,000					
b 利用料金収入	円	1,559,000	1,074,107	1,838,000	546,968	1,296,000					
c											
d											
e											

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
収入計 A	6,969,196	6,474,757	0	0	0	0
指定管理料	5,653,000	5,653,000				
利用料収入 C	1,074,107	546,968				
自主事業収入	206,089	98,789				
その他	36,000	176,000				
支出計 B	6,579,000	6,497,669	0	0	0	0
指定事業費	6,579,000	6,497,669				
内人件費 D	3,005,858	3,265,132				
内外部委託費 E	1,756,300	1,746,185				
自主事業費	0	0				
事業収支 A-B	390,196	-22,912	0	0	0	0
人件費率 D/B	45.69%	50.25%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	26.70%	26.87%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	「働き方改革」により人件費は増えたが、コロナ過になり利用料金収入及び自主事業収入が減り
	事業収支は赤字となった。
	その他の収入の増については、新型コロナウイルス感染防止支援金(140,000円)のため前年度より増額となった。

サービス改善の状況

園内を彩る季節の草花は、今年も鮮やかに咲き誇り(牡丹・かきつばた・ミムラス等)来園者をおもてなした。
毎日の担当者は朝出勤すると、園内の点検を兼ねてゴミ回収をして爽やかに向かい入れるべく奮闘している。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	A	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	A	B
	管理記録	協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
業務日誌等を適切に整備、保管している。		A	B	
連絡調整	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	B	
	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	A	B	
緊急対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	B	
	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	B	
総括	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B	
	避難経路が適切に確保されている。	A	B	
		「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	A	B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	B
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	B
	維持管理	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	A
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	B
環境配慮	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A	B	
	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
広報活動	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
苦情等対応	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	B	
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
利用者アンケート	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B	
総括	利用実績は、目標水準である。	C	C	
		「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	C
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
		「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	C
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	市線ひろばに来られるお客様に、安全快適に利用して頂く為に、日頃より、清潔やかな環境作りを心がけている。			
	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の対応として、一時は施設の利用制限を行った。			
	令和2年度から主催事業「今市宿七福神めぐり」を日時指定しての開催ではなく通年実施とし、緊急事態措置等以外の期間、色紙の販売を行った。			
	しかし、施設自体の認知度が低く、利用者が減少していることから、知名度向上を図り、施設のPRを積極的に行いたい。			
(所管課所見)				
また、敷地内には、ニジマス等の魚のいる池や手塚登久夫氏が作成したふうろうの石像もあることから、環境整備を行い、より魅力的な施設になるよう努力したい。				
コロナ禍であることから、施設の利用人数が減少していることはやむを得ない状況であるが、施設の良いところをPRして当該施設の設置目的を達成できるよう運営を行い、利用者増加に努めてほしい。また、近隣施設とも連携を図り、地域活性化にも取り組んで欲しい。				
施設の管理については、細かなところまで手入れが行き届いていることから、継続して取り組んでいただきたい。				
前年度総合評価	B(良好)	総合評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		